

“奇蹟はあなたにも用意されている”

三浦綾子文学講演会

『氷点』『塩狩峠』『銃口』などを書いた小説家のドラマチックな人生

自伝『道ありき』が語る愛と希望の人生



闇の中にいた彼女の心がふしぎな光に刺し貫かれた日、再生と希望の物語は始まった。

絶望、自殺未遂、死の病、恋人の死。
多くの苦難を通りながら、生きて愛して書いた
三浦綾子。

その奇蹟の人生が私たちに語っている

愛と希望のメッセージを聴きましょう。

日時 2013年11月4日(祝) 13:00~15:00

会場 山手南公民館 1F 大ホール

入場無料 どなたでもお気軽にお越しください。

講師 森下辰衛 もりしたたつえ

プロフィール

1962年岡山県生まれ。1992年から14年間福岡女学院大学で日本文学やキリスト教文学の授業を担当。2006年家族と共に『氷点』の舞台見本林のある旭川市神楽に移住し、三浦綾子記念文学館特別研究員となる。2007年福岡女学院を退職して、全国三浦綾子読書会代表として日本中を駆け回りながら、三浦綾子の心を語り伝えている。



彼は言った。

「綾ちゃん、人間にはね一人一人に
与えられた道があるんですよ。」

問い合わせ

笠原ナミ子 (ゴスペルフラサークル)

電話 0774-63-5471

主催 山手南自治会 文化企画部